

作成日 : 2005年02月08日

改訂日 : 2024年04月23日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名) SC608Z2
供給者
会社名 デクセリアルズ株式会社
住所 〒323-0194 栃木県下野市下坪山1724
電話 0285-39-7950 FAX 0285-47-3242
推奨用途 ポリエステル系自己消炎性接着剤
使用上の制限 一般工業用

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険

引火性液体 :区分 2 引火性の高い液体および蒸気

健康に対する有害性

急性毒性(吸入:蒸気) :区分 4 吸入すると有害

皮膚腐食性/刺激性 :区分 2 皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷

／眼刺激性 :区分 2A 強い眼刺激

発がん性 :区分 1B 発がんのおそれ

生殖毒性 :区分 1A+授乳影響 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
授乳中の子に害を及ぼすおそれ

特定標的臓器毒性-単回暴露:区分 1 中枢神経の障害

特定標的臓器毒性-単回暴露:区分 3 眠気又はめまいのおそれ 呼吸器への刺激のおそれ

特定標的臓器毒性-反復暴露:区分 1 長期にわたる、又は反復ばく露による腎臓、
中枢神経系の障害

特定標的臓器毒性-反復暴露:区分 2 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、神経系の
障害のおそれ

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分2 水生生物に毒性

水生環境有害性 長期(慢性): 区分3 長期継続的影響によって水生生物に有害

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素、絵表示

炎



感嘆符



健康有害性



注意喚起語

危険

注意書き

安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること。－禁煙
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること。アースをとること。
防爆型の電気機器、換気装置、照明器機等を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
ミスト、蒸気、ガス、スプレーの吸入を避けること。
妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
取扱い後はよく眼及び手を洗うこと。
屋外または換気のよい場所でだけ使用すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

保管

容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号
トルエン	33	108-88-3	(3)-2
三酸化アンチモン	5	1309-64-4	(1)-543
メチルエチルケトン	5-10	78-93-3	(2)-542
アモルファスシリカ	0-5	112945-52-5	
二酸化チタン	4	13463-67-7	(1)-558
臭素系難燃剤	5-10	企業秘	
無機充填剤	10-20	企業秘	
接着促進剤	0-5	企業秘	
ポリエステル樹脂	20-30	企業秘	

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。
直ちに医師の手当て診断を受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
いて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合には、
医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末、二酸化炭素、乾燥砂または耐アルコール性泡消火剤。

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/または腐食性のガスを発生するおそれがある。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。

屋内、屋外又は下水溝で蒸気爆発の危険がある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

適切な保護具を着用する。

関係者以外は近づけない。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

回収・中和

乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。

清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。

封じ込め及び浄化方法・基材

漏出物を取り扱うとき用いるすべての設備は接地する。

危険でなければ漏れをとめる。

乾燥土、砂や不燃材料で覆いさらにプラスチックシートで飛散を防止し、雨にぬらさない。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

滑らかな滑りやすい表面を床上に形成するので、完全に除去すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策

適切な換気装置を設置する。

静電気に対する予防措置を講ずる。

安全取扱い注意事項

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

必要な個人用保護具を使用する。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

保管条件

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。－ 禁煙。

酸化剤から離して保管する。

容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(トルエン)

: 作業環境評価基準 = < 20 ppm

(メチルエチルケトン)	: 作業環境評価基準 =<	200 ppm	
(三酸化アンチモン)	:	0.1 mg-Sb/m ³	
許容濃度			
(トルエン)	: 日本産衛学会	50 ppm;	188 mg/m ³ (皮)
(メチルエチルケトン)	: 日本産衛学会	200 ppm;	590 mg/m ³
(三酸化アンチモン)	: 日本産衛学会	0.1 mg-Sb/m ³	
(酸化チタン)	: 日本産衛学会	吸入性粉じん 1 mg/m ³ ;	総粉じん 4 mg/m ³
(トルエン)	: ACGIH TWA:	20 ppm	
(メチルエチルケトン)	: ACGIH TWA:	200 ppm STEL:	300 ppm
(三酸化アンチモン)	: ACGIH TWA:	0.5mg/m ³ (as Sb)	
(酸化チタン)	: ACGIH TWA:	10 mg/m ³	

この製品中の三酸化アンチモン、二酸化チタンは、混合されており粉体状でないので、摂取・吸入する可能性は少ない。

設備対策

防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

目の保護具

保護眼鏡または安全ゴーグルを使用する。

皮膚及び身体の保護具

状況に応じて、ゴム製の前掛け、長靴、保護衣などの不浸透性保護具を、接触を避けるために着用する。

衛生対策

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

取扱い後はよく手を洗う。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: 液体
色	: 白色
臭い	: 溶剤臭
初留点(沸点)	: データなし
凝固点(融点)	: データなし
可燃性	: データなし
爆発特性	: 引火または爆発範囲の
下限	: データなし
上限	: データなし
引火点	: 3.6°C(セタ密閉式)
発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動的粘度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール	
/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸気速度	: データなし
比重/密度	: 1.25

粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

予期される通常の保管および取扱いの条件において安定と考えられる。

避けるべき条件

強酸や強い酸化剤との接触を避ける。
高温の物体、火花、裸火、静電気火花

混触危険物質

酸、塩基、酸化性物質

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

蒸気は、めまいや窒息を引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性・刺激性

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

がん原性

IARC

(トルエン) : IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。
(三酸化アンチモン) : IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。
(酸化チタン) : IARC-Gr.2B ; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。

ACGIH

(トルエン) : ACGIH-A4 ; ヒト発がん性因子として分類できない
(三酸化アンチモン) : ACGIH-A2 ; ヒト発がん性の疑いがある (肺がん、じん肺症)
(酸化チタン(IV)) : ACGIH-A4 ; ヒト発がん性因子として分類できない

毒性の数値的尺度(急性毒性推定値など)

経口毒性データ

(トルエン) : ラット LD50 5000 mg/kg
(メチルエチルケトン) : ラット LD50 2737 mg/kg

経皮毒性データ

(トルエン) : ラビット LD50 14100 mg/kg
(メチルエチルケトン) : ラビット LD50 13000 mg/kg

吸入毒性データ

(トルエン) : ラット LC50 4000 ppm/4H
(メチルエチルケトン) : ラット LC50 11700 ppm/4H

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に有害

他の有害影響

知見無し

13. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報

この製品、容器は適法な設備、方法で処理するか、もしくは正式認可を得た処理業者に内容を明確に開示して処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 1133
クラス : 3
包装等級 : III(包装物当たりの正味量が30L以内(18L缶、180mlチューブ))
適切な積荷名称 : 接着剤
緊急時応急指針番号 : 128

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康および環境に関する規則

毒物及び劇物取締法; 製品としては該当しない。

指令第2条劇物(成分中で該当するもの)

トルエン、メチルエチルケトン

労働安全衛生法

法第57条の5の変異原性が認められた既存化学物質

該当なし

施行令別表6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号(第2種有機溶剤)

トルエン、メチルエチルケトン

法第65条の2作業環境評価基準

トルエン、メチルエチルケトン

特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2, 3の2号 特定化学物質第2類物質

三酸化アンチモン

特定化学物質特別管理物質(特定化学物質障害予防規則第38条3)

三酸化アンチモン

法57条の1、施行令第18条名称等を表示すべき有害物

三酸化アンチモン(5%)、酸化チタン(4%)、トルエン(33%)、メチルエチルケトン(9%)

法第57条の2、施行令第18条の2別表第9名称等を通知すべき有害物

三酸化アンチモン(5%)、酸化チタン(4%)、トルエン(33%)、メチルエチルケトン(9%)

施行令別表1-4、危険物・引火性の物 (-30 C=<引火点<0 C)

メチルエチルケトン

施行令別表1-4、危険物・引火性の物 (0 C=<引火点<30 C)

トルエン

施行令別表1-4、危険物・引火性の物 (30 C=<引火点<65 C)

該当なし

皮膚等障害化学物質(安全則第594条の2)

トルエン、メチルエチルケトン

化学物質管理促進法 第一種指定化学物質

トルエン、三酸化アンチモン

消防法

第2類 可燃性固体類 引火性固体

船舶安全法

引火性液体類

航空法

引火性液体

輸出貿易管理令

キャッチ・オール規制対象品

16. その他の情報

参考文献

原材料メーカーのSDS

責任の限定について

ここに掲載した情報は、本製品に限定して当社が最善をつくして集めたものを提供しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。取り扱い方法は、一般的に妥当とされるものを記載してあります。ユーザーの責任において、個々の用途に照らして取扱い方法を検討してください。このSDSは、新しい知見により改訂されることがありますので、当社営業部門に最新版のSDSを請求していただくことをお勧めします。

以上